

# 高齢者と共に ビー玉転がし・スタンプアートを楽しもう

教育課程上の位置付 特別活動

## 実施概要

今回は、施設との初めての交流で、利用者5人を学校に招待しました。ホールで開会挨拶の後、生徒5～6名と利用者1名でグループをつくり、5つの教室に分かれて、活動しました。各教室では、自己紹介の後、生徒と利用者が協力して、画用紙の上に絵の具の付いたビー玉を転がし、紅葉型のスタンプを押して紅葉の絵を作成し、ホールに持ち寄り、1枚の絵を完成させました。

最後に、全員で手話つきの歌「ハナミズキ」を合唱しました。

**活動参加者** 当校 生徒…27人 担当教員…9人  
**内訳** 交流先 利用者…5人 担当職員…3人

**交通手段** 当校とラポール高島平との距離はおおよそ960m  
車で来校 約5分



きれいな紅葉になるように力を合わせて

## 活動報告 実施日：9月26日(水)

代表生徒の歓迎の挨拶、教員による活動の説明の後、5つの教室に分かれて、紅葉の絵の制作を行いました。各教室では、自己紹介の後、生徒は交代で利用者と2人で、トレイに入れた画用紙の上に色付けしたビー玉数個を協力して転がし、紅葉の枝を描きました。紅葉の枝の絵ができると、その上に紅葉型のスタンプを生徒と利用者が両手で押しつけ、開くと鮮やかな紅葉が出現して、「きれい!」と拍手や歓声が上がりました。各グループの絵をホールで合わせて、1枚の大きな絵にすると、更に大きな歓声が上がりました。

最後は、全員で「ハナミズキ」の歌を合唱し、利用者の涙ぐむ姿も見られ、退場の際はそれぞれハイタッチして別れを惜しんでいました。

### 当日のスケジュール

- 10:00 学校、施設、SSC、都教委4者打合せ(1階校長室)
- 10:15 利用者が車で到着。3階控室へ案内(教員)  
その後、生徒、利用者、3階エレベーターホールに集合
- 10:30 開会 進行(教員) 歓迎の挨拶 生徒1名  
・活動内容の説明・実演(教員)
- 10:40 5グループ(生徒6名、利用者1名ずつ)に分かれる。生徒、利用者と一緒に必要な道具を持ち、3年生A組～E組教室に移動
- 10:55 各教室で活動。  
(トレイに四つ切の画用紙を置き、生徒と利用者が協力して絵の具をつけたビー玉を画用紙の上で転がして、紅葉の枝を描画。その上に、皆で交互に紅葉型のスタンプを押して、紅葉の風景画制作)
- 11:30 全員で制作した作品の鑑賞。その後、「ハナミズキ」合唱  
(後日、施設に完成作品をプレゼント)
- 11:50 生徒、利用者が感想を発表。終わりの挨拶(生徒1名)  
利用者を生徒5名玄関までお見送り

### ■活動のために準備したもの

- ・歓迎の挨拶文(生徒が読み上げるための手紙)
- ・美術(消しゴムスタンプ、ビー玉、箱、水色画用紙、インク)
- ・音楽(タブレット端末に手話イラストと歌詞のスライド、「ハナミズキ」のメロディ)

### ■工夫したところ

- ・美術作品製作の時などは、6～8人程度のグループに分かれることで利用者と生徒がコミュニケーションしやすい環境を作りました。
- ・生徒が音楽の授業で練習していた「ハナミズキ」の歌のプレゼントをしました。

### ■実施にあたって注意したところ

利用者の方が、スムーズに移動できるよう、体育館棟の玄関まで車を寄せたり、エレベータを使用するなど、移動時の動線は十分に検討しました。また、体調不良時に備え、個室を用意しました。

### ■良かったと思うところ

生徒は、美術製作時に利用者と声を合わせてスタンプを押すなど、積極的に話しかけて楽しむ様子が見られました。

また、歌のプレゼントでは、利用者が大変喜ぶ様子を見て、生徒もうれしそうでした。

### ■今後に向けての学校からの抱負

よい交流を実施するためには、安全面、衛生面、環境面など様々な視点で、十分な検討と、計画が必要だと考えます。また、生徒には事前学習等で利用者の視点でどのようなことに困っているか、考える機会を作ることも大事だと思いました。

今年度の交流の反省を生かし、次年度以降の交流がより充実したものになるよう検討を重ね、年間の計画を立てていきたいと思っています。

当校は、小学部・中学部を設置する知的障害特別支援学校です。昭和48年度に東京都における障害児希望者全員就学の方針に基づき開設されました。

一人一人の教育ニーズに応じた適切な教育を推進し、地域と共に歩む学校を目指しています。

社会貢献活動は、これまで近隣の清掃活動や中学校とポッチャなどのスポーツ交流を行っています。

## 活動の感想

### 生徒・教員の感想

#### 生徒

始めは、緊張したけれど話ができうれしかったです。  
一緒に美術作品が作れてうれしかったです。

#### 教員

計画から準備まで大変でしたが、共同で制作する美術作品や音楽の歌を通じて、生徒も利用者も双方が会話を楽しみ、喜ぶ様子を見ることができました。よい交流が実施できました。

### 施設の参加利用者・担当者の感想

#### 利用者

子供たちと一緒に絵の具を塗って楽しかったです。  
制作している途中で「こうしたほうがいいんじゃない」「ここに押したほうが…」と言ってくれる生徒がいてよかったです。  
仕上がりがきれいでよかったです。  
また一緒にやりたいです。

#### 施設長

初めての試みで不安はありましたが、関わったすべての方々に得るものがあつたと思います。  
ビー玉転がしアート、スタンプアートを互いに協力し行うことで利用者の方々は、子供たちにいいところを見せようと頑張り、生徒さんは、利用者のできない部分を助け作業を積極的にリードし、見ている施設職員、教員は、新たな一面や成長を感じることができた良い交流会となったと思い、今後も継続していきたいと思いました。



紅葉の枝、ビー玉で上手く描けますように



仕上げた画をバックに手話歌を披露

### ■実施までの経過 ※ (コ)：コーディネーター

- 6月25日 (コ)、当校を訪問。副校長、担当教員と打合せ
- 7月6日 (コ)、施設を訪問。施設長に事業説明。施設長、活動受け入れ快諾
- 7月13日 (コ)、施設長と学校を訪問。担当教員と活動内容を打合せ
- 7月24日 当校副校長、担当教員、学年教員、(コ)が施設を訪問。活動内容を打合せ
- 9月5日 (コ)、副校長、担当教員とプログラム内容、会場レイアウトなど確認  
その後、施設を訪問。活動内容を説明
- 9月12日 (コ)、メールにて担当教員、施設担当者と活動内容を最終打合せ

### 交流先



## 医療財団法人 逸生会 グループホームラポール高島平

住所：東京都板橋区高島平2-5-1

### ■施設概要

- ・グループホーム 定員 27名
- ・デイサービスセンター 定員 20名
- ・居宅介護支援事業所